

学校コード F113310102895

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

東京成徳大学 国際学部

(必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京成徳学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画・IR室

職名・氏名 ウチダ ヨシヒロ
内田 善浩

電話番号 03-3908-4530

(夜間) 03-3908-4563

e-mail ir@tsu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「○○大学」
- ・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

国際学部

＜国際学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京成徳学園

(2) 大学名

東京成徳大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒114-0033

東京都北区十条台一丁目7番13号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キウチ ヒデキ) 木内 秀樹 (平成25年5月)		
学長	(アライ クニジロウ) 新井 邦二郎 (平成29年4月)	(ヨシダ フジオ) 吉田 富二雄 (令和3年4月)	任期満了のため変更 令和3年4月1日(3)
学部長	(ハガ カツヒコ) 芳賀 克彦 (平成31年4月)		
学科長等	(オカモト カズヒコ) 岡本 和彦 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際学科 学士（国際学）	文学関係	4 年	81 人	— 人	324 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	81 (—) [—]	— (—) [—]	0.71倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	270 (—) [—]	— (—) [—]	470 (—) [—]	— (—) [—]	335 (—) [—]	— (—) [—]	202 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	257 (—) [—]	— (—) [—]	442 (—) [—]	— (—) [—]	296 (—) [—]	— (—) [—]	180 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	115 (—) [—]	— (—) [—]	178 (—) [—]	— (—) [—]	129 (—) [—]	— (—) [—]	91 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	56 (—) [—]	— (—) [—]	72 (—) [—]	— (—) [—]	54 (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		0.69		0.88		0.66		0.66		0.61				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	56 [-] (-)	- [-] (-)	72 [-] (-)	- [-] (-)	55 [-] (1)	- [-] (-)	51 [-] (1)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	55 [-] (-)	- [-] (-)	69 [-] (-)	- [-] (-)	47 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	49 [-] (-)	- [-] (-)	65 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/				- [-] (-)	- [-] (-)	49 [-] (-)	- [-] (-)			
計			- [-] (-)	56 [-] (-)	127 [-] (-)	173 [-] (1)	212 [-] (1)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	56 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和2年度	127 人	8 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、海外留学(2人)、除籍(1人)
			令和2年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)
令和3年度	173 人	11 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	5 人	0 人	海外留学(3人)、就学意欲の低下(1人)、就職(1人)
			令和3年度	6 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(3人)、 就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(1人)
令和4年度	212 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		20 人		20 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{56} = \boxed{1.78} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{127} = \boxed{6.29} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{173} = \boxed{6.35} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{212} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
スキルツ科目	スタディ・スキル	1前	2			3						
	ICTリテラシー1	1前	2			1						
	文章表現演習	2後	2			3						
	ICTリテラシー2	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	8			4						
キャリアデザイン科目	キャリアデザイン1	1前	2								1	
	キャリアデザイン2	2後	2								1	
	キャリアデザイン3	3後		2							1	
	インターンシップ	3前		2							1	
	小計(4科目)	-	4	4								1
教養科目	哲学	1前		2								1
	文学	1前		2		1						
	言語学	1前		2		1						
	近現代世界史	1前		2		1						
	法学	1前		2								1
	政治学	1前		2								1
	経済学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	ジェンダー論	1前		2								1
	地球環境問題	1前		2								1
	現代社会論	1前		2								1
	健康スポーツ	1前		1								1
	地理学	1前		2								1
小計(13科目)	-		25		2						9	
ゼミナール科目	留学前ゼミナール	1前	2			1	1		1			
	留学後ゼミナール	2後	1				1		1			
	専門ゼミナール1A	3前	1			2	2					
	専門ゼミナール1B	3後	1			2	2					
	プロジェクト演習	3通		3		1			1			
	専門ゼミナール2A	4前	1			5	3					
	専門ゼミナール2B	4後	1			5	3					
	卒業論文	4通	4			7	3					
小計(8科目)	-	11	3		8	3		1				
国際基礎科目	グローバルスタディーズ入門	1前	2			1						
	異文化コミュニケーション	1前	2						1			
	日本の歴史と文化	1前	2			1						
	国際関係入門	2後	2			1						
	比較文化入門	2後	2			1						
	日本文化入門	2後	2			1						
	小計(6科目)	-	12			3			1			
語学科目	English Conversation 1	1前	1			1						
	English Conversation 2	1前	1			1						
	Reading 1	1前		1			2		1			
	Writing 1	1前		1		1			2			
	Vocabulary	1前		1		1			1			
	ホームステイ英語	1前		1			1		1			
	Advanced English Conversation 1	2後		1					2			
	Reading 2	2後		1		1	2					
	Writing 2	2後		1		1			2			
	English Presentation	2後		1		1			1			
	資格英語1	2後		1		1			1			
	ビジネス英語1	2後		1					2			
	Advanced English Conversation 2	3前		1		1						
アカデミック英語	3後		1		1							
資格英語2	3前		1		1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
スキルツ科目	スタディ・スキル	1前	2			3						
	ICTリテラシー1	1前	2			1						
	文章表現演習	2後	2			3						
	ICTリテラシー2	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	8			4						
キャリアデザイン科目	キャリアデザイン1	1前	2						1			
	キャリアデザイン2	2後	2						1			
	キャリアデザイン3	3後		2					1		1	
	インターンシップ	3前		2					1			
	小計(4科目)	-	4	4					1			1
教養科目	哲学	1前		2								1
	文学	1前		2		1						
	言語学	1前		2		1						
	近現代世界史	1前		2		1						
	法学	1前		2								1
	政治学	1前		2								1
	経済学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	ジェンダー論	1前		2								1
	地球環境問題	1前		2								1
	現代社会論	1前		2								1
	健康スポーツ	1前		1								1
	地理学	1前		2								1
小計(13科目)	-		25		3						7	
ゼミナール科目	留学前ゼミナール	1前	2			1	1			1		
	留学後ゼミナール	2後	1				1			1		
	専門ゼミナール1A	3前	1			2	2					
	専門ゼミナール1B	3後	1			2	2					
	プロジェクト演習	3通		3		1						
	専門ゼミナール2A	4前	1			6	3					
	専門ゼミナール2B	4後	1			6	3					
	卒業論文	4通	4			6	3					
小計(8科目)	-	11	3		6	3			1			
国際基礎科目	グローバルスタディーズ入門	1前	2			1						
	異文化コミュニケーション	1前	2							1		
	日本の歴史と文化	1前	2			1						
	国際関係入門	2後	2			1						
	比較文化入門	2後	2			1						
	日本文化入門	2後	2			1						
	小計(6科目)	-	12			4				1		
語学科目	English Conversation 1	1前	1			1						
	English Conversation 2	1前	1			1						
	Reading 1	1前		1			1				2	
	Writing 1	1前		1		1			1		1	
	Vocabulary	1前		1		1					1	
	ホームステイ英語	1前		1			1				2	
	Advanced English Conversation 1	2後		1							2	
	Reading 2	2後		1		1					1	
	Writing 2	2後		1		1			1			
	English Presentation	2後		1		1					2	
	資格英語1	2後		1		1		2				
	ビジネス英語1 (未開講)	2後		1							2	
	Advanced English Conversation 2	3前		1		1					2	
アカデミック英語	3後		1		1							
資格英語2	3前		1							2		

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
語学科目	観光英語	3後	1						1			
	ビジネス英語2	3前	1						2			
	Journal Reading	3後	1			1						
	韓国語会話1	1前	1			1					1	
	韓国語会話2	1前	1			1					2	
	韓国語作文1	1前	1			1					2	
	韓国語講読1	1前	1			1					2	
	留学韓国語	1前	1			1	1					
	ハングルの世界	1前	1			1						
	上級韓国語会話1	2後	1			1	1					
	韓国語作文2	2後	1			1					1	
	韓国語講読2	2後	1			1					1	
	韓国語プレゼンテーション	2後	1			1	1				1	
	資格韓国語1	2後	1								2	
	ビジネス韓国語1	2後	1								3	
	上級韓国語会話2	3前	1								2	
	アカデミック韓国語	3後	1			1						
	資格韓国語2	3前	1								2	
観光韓国語	3後	1								2		
ビジネス韓国語2	3前	1								2		
時事韓国語	3前	1								1		
小計(36科目)	-	2	34		2	2		3		3		
留学科目	ランゲージスキル1	1後	2			2						
	ランゲージスキル2	1後	2			2						
	ランゲージスキル3	2前	2			2						
	ランゲージスキル4	2前	2			2						
	リーディングスキル1	1後	2		1	1						
	リーディングスキル2	1後	2		1	1						
	リーディングスキル3	2前	2		1	1						
	リーディングスキル4	2前	2		1	1						
	ライティングスキル1	1後	2		1	1						
	ライティングスキル2	1後	2		1	1						
	ライティングスキル3	2前	2		1	1						
	ライティングスキル4	2前	2		1	1						
	スピーキングスキル1	1後	2		1			1				
	スピーキングスキル2	1後	2		1			1				
	スピーキングスキル3	2前	2		1			1				
スピーキングスキル4	2前	2		1			1					
人文科学分野研究	2前	2		1								
社会科学分野研究	2前	2		1								
国際教養分野研究	2前	2		1								
自然科学分野研究	2前	2		1								
小計(20科目)	-		40		5	2		1				
国際関係・地域研究科目	欧米地域研究	2後	2		1							
	東アジア地域研究	2後	2		1							
	アメリカ情勢	3前	2			1						
	ヨーロッパ情勢	3前	2		1							
	アジア情勢	3後	2								1	
	アフリカ情勢	3後	2					1				
	国際問題研究	3後	2		1						1	
	グローバルイゼーション論	3前	2		1							
	日韓関係論	3後	2								1	
	アメリカ外交研究	3前	2		1							
	国際協力・開発論	3前	2		1							
	平和学	3後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
語学科目	観光英語(未開講)	3後	1								1	
	ビジネス英語2	3前	1								1	
	Journal Reading	3後	1			1						
	韓国語会話1	1前	1			1						1
	韓国語会話2	1前	1			1						1
	韓国語作文1	1前	1					1				1
	韓国語講読1	1前	1			1						1
	留学韓国語	1前	1			1	1					
	ハングルの世界	1前	1			1						
	上級韓国語会話1	2後	1			1						1
	韓国語作文2	2後	1								2	
	韓国語講読2	2後	1			1					2	
	韓国語プレゼンテーション	2後	1			1	1					
	資格韓国語1	2後	1					1				1
	ビジネス韓国語1	2後	1					1				
	上級韓国語会話2	3前	1									2
	アカデミック韓国語	3後	1			1						
	資格韓国語2	3前	1									1
観光韓国語	3後	1						1				
ビジネス韓国語2	3前	1						1				
時事韓国語	3前	1						1				
小計(36科目)	-	2	34		4	2		2		2	3	
留学科目	ランゲージスキル1	1後	2			2				1		1
	ランゲージスキル2	1後	2			2				1		1
	ランゲージスキル3	2前	2			2				1		1
	ランゲージスキル4	2前	2			2				1		1
	リーディングスキル1	1後	2			2		2				
	リーディングスキル2	1後	2			2		2				
	リーディングスキル3	2前	2			2		2				
	リーディングスキル4	2前	2			2		2				
	ライティングスキル1	1後	2			2	1	1				
	ライティングスキル2	1後	2			2	1	1				
	ライティングスキル3	2前	2			2	1	1				
	ライティングスキル4	2前	2			2	1	1				
	スピーキングスキル1	1後	2			2	1	1				
	スピーキングスキル2	1後	2			2	1	1				
	スピーキングスキル3	2前	2			2	1	1				
スピーキングスキル4	2前	2			2	1	1					
人文科学分野研究	2前	2			2	1						
社会科学分野研究	2前	2			2	1						
国際教養分野研究	2前	2			2	1						
自然科学分野研究	2前	2			2	1						
小計(20科目)	-		40		7	2		1				
国際関係・地域研究科目	欧米地域研究	2後	2		1							
	東アジア地域研究	2後	2		1							
	アメリカ情勢	3前	2					1				
	ヨーロッパ情勢	3前	2		1							
	アジア情勢	3後	2						1			
	アフリカ情勢	3後	2					1				
	国際問題研究	3後	2		1				1			
	グローバルイゼーション論	3前	2		1							
	日韓関係論	3後	2						1			
	アメリカ外交研究	3前	2		1				1			
	国際協力・開発論	3前	2		1							
	平和学	3後	2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
地域関係・国際関係科目	NGO論	3後		2		1							
	国連研究	3後		2		1							
	旅行業A	2後		2							1		
	旅行業B	3前		2							1		
	小計(16科目)	-		32		3	1		1			2	
国際文化・国際教養科目	アメリカ社会文化論	2後		2			1						
	韓国社会文化論	2後		2			1						
	比較文化論	3前		2			1						
	表象文化研究	3前		2							1		
	東アジア文化研究	3前		2		1							
	イギリス・アイルランド文化研究	3前		2			1						
	アメリカ・カナダ文化研究	3後		2			1						
	オセアニア文化研究	3後		2			1						
	日韓比較文化論	3後		2		1							
	英米文学研究	3後		2			1						
	世界の宗教	3後		2		1						1	
	日本史概論	3前		2		1							
	日本文化研究	3後		2		1							
	日本文学研究	3後		2		1							
	伝統芸能研究	3後		2		1							
	伝統文化研究	3後		2			1					1	
	日本美術研究	3後		2		1							
	日本語概論	2後		2		1							
	日本語史	3前		2		1							
	日本語文法	3前		2		1							
	日本語音声学	3後		2							1		
	日本語教育論1	2後		2		1							
	日本語教育論2	3前		2		1							
	日本語教授法1	2後		2		1						1	
	日本語教授法2	3後		2								1	
	日本語教育実習	4前		3								1	
	小計(26科目)	-		53		5	3					4	
国際コミュニケーション科目	ICTスキルA(情報発信)	3前		2		1							
	ICTスキルB(画像処理)	3前		2		1							
	ICTスキルC(情報発信上級)	3後		2		1							
	ビジネスプレゼンテーション概論	2後		2								1	
	言語生活と心理	3前		2								1	
	World Englishes	3前		2		1							
	英語通訳	3前		1			1						
	英語通訳演習	3後		1			1						
	韓国語通訳	3前		1		1							
	韓国語通訳演習	3後		1								1	
	English Discussion	3後		1		1							
	English Business Presentation	3前		1						1			
	韓国語ディスカッション	3後		1								1	
	韓国語ビジネスプレゼンテーション	3前		1		1						2	
中国語会話A	3前		1		1								
中国語会話B	3後		1		1								
中国語講読A	3前		1		1								
中国語講読B	3後		1		1								
	小計(18科目)	-		24		4	1		1			4	
	合計(151科目)	-		37		215		8	3		2		20
卒業要件及び履修方法													
(ベーシックスキル科目、キャリアデザイン科目、教養科目から必修科目を含む合計30単位以上)													
・ゼミナール科目から必修科目を含む11単位以上													
・国際基礎科目から12単位													
・語学科目から必修科目を含む12単位以上													
・留学科目から2~32単位													
・国際関係・地域研究科目、国際文化・国際教養科目、国際コミュニケーション科目からそれぞれ6単位以上													
修得し、必修科目、選択科目をあわせて128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:年間46単位)													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
地域関係・国際関係科目	NGO論	3後		2		1							
	国連研究	3後		2		1							
	旅行業A	2後		2								1	
	旅行業B	3前		2								1	
	小計(16科目)	-		32		3	2		1			1	
国際文化・国際教養科目	アメリカ社会文化論	2後		2				1					
	韓国社会文化論	2後		2				1					
	比較文化論	3前		2				1					
	表象文化研究	3前		2								1	
	東アジア文化研究	3前		2		1							
	イギリス・アイルランド文化研究	3前		2			1						
	アメリカ・カナダ文化研究	3後		2			1						
	オセアニア文化研究	3後		2			1						
	日韓比較文化論	3後		2		1							
	英米文学研究	3後		2			1						
	世界の宗教	3後		2								1	
	日本史概論	3前		2		1							
	日本文化研究	3後		2		1							
	日本文学研究	3後		2		1							
	伝統芸能研究	3後		2		1							
	伝統文化研究	3後		2			1					1	
	日本美術研究	3後		2		1							
	日本語概論	2後		2		1							
	日本語史	3前		2		1							
	日本語文法	3前		2		1							
	日本語音声学	3後		2								1	
	日本語教育論1	2後		2		1							
	日本語教育論2	3前		2		1							
	日本語教授法1	3前		2		1						1	
	日本語教授法2	3後		2								1	
	日本語教育実習	4前		3								1	
	小計(26科目)	-		53		5	2		1			4	
国際コミュニケーション科目	ICTスキルA(情報発信)	3前		2		1							
	ICTスキルB(画像処理)	3前		2		1							
	ICTスキルC(情報発信上級)	3後		2		1							
	ビジネスプレゼンテーション概論	3前		2				1					
	言語生活と心理	3前		2								1	
	World Englishes	3前		2		1							
	英語通訳	3前		1			1						
	英語通訳演習	3後		1			1						
	韓国語通訳	3前		1		1							
	韓国語通訳演習	3後		1								1	
	English Discussion	3後		1		1							
	English Business Presentation	3前		1								1	
	韓国語ディスカッション	3後		1								1	
	韓国語ビジネスプレゼンテーション	3前		1		1						1	
中国語会話A	3前		1		1								
中国語会話B	3後		1		1								
中国語講読A	3前		1		1								
中国語講読B	3後		1		1								
	小計(18科目)	-		24		7	2		2			1	
	合計(151科目)	-		37		215		10	3		2		16
卒業要件及び履修方法													
(ベーシックスキル科目、キャリアデザイン科目、教養科目から必修科目を含む合計30単位以上)													
・ゼミナール科目から必修科目を含む11単位以上													
・国際基礎科目から12単位													
・語学科目から必修科目を含む12単位以上													
・留学科目から2~32単位													
・国際関係・地域研究科目、国際文化・国際教養科目、国際コミュニケーション科目からそれぞれ6単位以上													
修得し、必修科目、選択科目をあわせて128単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:年間46単位)													

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック科目	スタディ・スキル	1前	2			3						
	ICTリテラシー1	1前	2			1						
	文章表現演習	2後	2			3						
	ICTリテラシー2	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	8			4						
キャリアデザイン科目	キャリアデザイン1	1前	2								1	
	キャリアデザイン2	2後	2								1	
	キャリアデザイン3	3後		2							1	
	インターンシップ	3前		2							1	
	小計(4科目)	-	4	4								1
教養科目	哲学(未開講)	1前	2									1
	文学(未開講)	1前	2			1						
	言語学(未開講)	1前	2			1						
	近現代世界史	1前	2			1						
	法学	1前	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	社会学(未開講)	1前	2									1
	ジェンダー論(未開講)	1前	2									1
	地球環境問題	1前	2									1
	現代社会論(未開講)	1前	2									1
	健康スポーツ	1前	1									2
	地理学	1前	2									1
小計(13科目)	-		25		2							9
ゼミナール科目	留学前ゼミナール	1前	2			2			1			
	留学後ゼミナール	2後	1				1		1			
	専門ゼミナール1A	3前	1			2	2					
	専門ゼミナール1B	3後	1			2	2					
	プロジェクト演習	3通		3		1			1			
	専門ゼミナール2A	4前	1			7	2					
	専門ゼミナール2B	4後	1			7	2					
	卒業論文	4通	4			8	2					
	小計(8科目)	-	11	3		8	2		1			
国際基礎科目	グローバルスタディーズ入門	1前	2			1						
	異文化コミュニケーション	1前	2						1			
	日本の歴史と文化	1前	2			1						
	国際関係入門	2後	2			1						
	比較文化入門	2後	2			1						
	日本文化入門	2後	2			1						
	小計(6科目)	-	12			4			1			
語学科目	English Conversation 1	1前	1			1						
	English Conversation 2	1前	1			1						
	Reading 1	1前		1		2						1
	Writing 1	1前		1		1						2
	Vocabulary	1前		1		1						1
	ホームステイ英語	1前		1		1						1
	Advanced English Conversation 1	2後		1								2
	Reading 2	2後		1		2	1					1
	Writing 2	2後		1		1						2
	English Presentation	2後		1		1						2
	資格英語1	2後		1		1						2
	ビジネス英語1	2後		1		1						1
	Advanced English Conversation 2	3前		1		1						2
アカデミック英語	3後		1		1						1	
資格英語2	3前		1		1						1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック科目	スタディ・スキル	1前	2			3						
	ICTリテラシー1	1前	2			1						
	文章表現演習	2後	2			3						
	ICTリテラシー2	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	8			4						
キャリアデザイン科目	キャリアデザイン1	1前	2									1
	キャリアデザイン2	2後	2									1
	キャリアデザイン3	3後		2								1
	インターンシップ	3前		2								1
	小計(4科目)	-	4	4								
教養科目	哲学	1前	2									1
	文学	1前	2									1
	言語学	1前	2					1				
	近現代世界史	1前	2					1				
	法学	1前	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	社会学	1前	2									1
	ジェンダー論	1前	2									1
	地球環境問題	1前	2									1
	現代社会論	1前	2									1
	健康スポーツ	1前	1									1
	地理学	1前	2									1
小計(13科目)	-		25		2							8
ゼミナール科目	留学前ゼミナール	1前	2			2			1			
	留学後ゼミナール	2後	1				1		1			
	専門ゼミナール1A	3前	1			2	1					
	専門ゼミナール1B	3後	1			2	1					
	プロジェクト演習	3通		3		1			1			
	専門ゼミナール2A	4前	1			7	1					
	専門ゼミナール2B	4後	1			7	1					
	卒業論文	4通	4			8	1					
	小計(8科目)	-	11	3		8	1		1			
国際基礎科目	グローバルスタディーズ入門	1前	2			1						
	異文化コミュニケーション	1前	2								1	
	日本の歴史と文化	1前	2			1						
	国際関係入門	2後	2			1						
	比較文化入門	2後	2			1						
	日本文化入門	2後	2			1						
	小計(6科目)	-	12			4			1			
語学科目	English Conversation 1	1前	1			1						
	English Conversation 2	1前	1			1						
	Reading 1	1前		1		2						1
	Writing 1	1前		1		1						2
	Vocabulary	1前		1		1						1
	ホームステイ英語	1前		1		1						1
	Advanced English Conversation 1	2後		1								2
	Reading 2	2後		1		2						1
	Writing 2	2後		1		1						2
	English Presentation	2後		1		1						2
	資格英語1	2後		1		1						2
	ビジネス英語1	2後		1		1						1
	Advanced English Conversation 2	3前		1		1						2
アカデミック英語	3後		1		1						1	
資格英語2	3前		1		1						1	

【令和元年度】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
語学科目	観光英語	3後	1						1		
	ビジネス英語2	3前	1						2		
	Journal Reading	3後	1			1					
	韓国語会話1	1前	1			1					2
	韓国語会話2	1前	1			1					2
	韓国語作文1	1前	1				1				2
	韓国語講読1	1前	1				1				2
	留学韓国語	1前	1			1	1				
	ハングルの世界	1前	1				1				
	上級韓国語会話1	2後	1			1	1				
	韓国語作文2	2後	1			1					1
	韓国語講読2	2後	1				1				1
	韓国語プレゼンテーション	2後	1			1	1				1
	資格韓国語1	2後	1								2
	ビジネス韓国語1	2後	1								3
	上級韓国語会話2	3前	1								2
	アカデミック韓国語	3後	1			1					
	資格韓国語2	3前	1								2
	観光韓国語	3後	1								2
ビジネス韓国語2	3前	1								2	
時事韓国語	3前	1								1	
小計(36科目)	-	2	34		4	2		3		3	
留学科目	ランゲージスキル1	1後	2			2					
	ランゲージスキル2	1後	2			2					
	ランゲージスキル3	2前	2			2					
	ランゲージスキル4	2前	2			2					
	リーディングスキル1	1後	2			2					
	リーディングスキル2	1後	2			2					
	リーディングスキル3	2前	2			2					
	リーディングスキル4	2前	2			2					
	ライティングスキル1	1後	2	1	1						
	ライティングスキル2	1後	2	1	1						
	ライティングスキル3	2前	2	1	1						
	ライティングスキル4	2前	2	1	1						
	スピーキングスキル1	1後	2	1				1			
	スピーキングスキル2	1後	2	1				1			
	スピーキングスキル3	2前	2	1				1			
スピーキングスキル4	2前	2	1				1				
人文科学分野研究	2前	2	1								
社会科学分野研究	2前	2	1								
国際教養分野研究	2前	2	1								
自然科学分野研究	2前	2	1								
小計(20科目)	-		40		6	2		1			
国際関係・地域研究科目	欧米地域研究	2後	2		1						
	東アジア地域研究	2後	2		1						
	アメリカ情勢	3前	2			1					
	ヨーロッパ情勢	3前	2		1						
	アジア情勢	3後	2								1
	アフリカ情勢	3後	2					1			
	国際問題研究	3後	2		1						
	グローバルイゼーション論	3前	2		1						
	日韓関係論	3後	2								1
	アメリカ外交研究	3前	2		1						
	国際協力・開発論	3前	2		1						
平和学	3後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
語学科目	観光英語	3後	1						1		
	ビジネス英語2	3前	1						2		
	Journal Reading	3後	1			1					
	韓国語会話1	1前	1			1					2
	韓国語会話2	1前	1			1					2
	韓国語作文1	1前	1				1				2
	韓国語講読1	1前	1				1				2
	留学韓国語	1前	1			1	1				
	ハングルの世界	1前	1				1				
	上級韓国語会話1	2後	1			1					2
	韓国語作文2	2後	1						1		2
	韓国語講読2	2後	1				1				2
	韓国語プレゼンテーション	2後	1			1	1				2
	資格韓国語1	2後	1								2
	ビジネス韓国語1	2後	1								1
	上級韓国語会話2	3前	1								2
	アカデミック韓国語	3後	1			1					
	資格韓国語2	3前	1								2
	観光韓国語	3後	1								2
ビジネス韓国語2	3前	1								2	
時事韓国語	3前	1								1	
小計(36科目)	-	2	34		4	1		2		7	
留学科目	ランゲージスキル1	1後	2			2			1		1
	ランゲージスキル2	1後	2			2			1		1
	ランゲージスキル3	2前	2			2			1		1
	ランゲージスキル4	2前	2			2			1		1
	リーディングスキル1	1後	2			2					
	リーディングスキル2	1後	2			2					
	リーディングスキル3	2前	2			2					
	リーディングスキル4	2前	2			2					
	ライティングスキル1	1後	2	1	1						
	ライティングスキル2	1後	2	1	1						
	ライティングスキル3	2前	2	1	1						
	ライティングスキル4	2前	2	1	1						
	スピーキングスキル1	1後	2	1				1			
	スピーキングスキル2	1後	2	1				1			
	スピーキングスキル3	2前	2	1				1			
スピーキングスキル4	2前	2	1				1				
人文科学分野研究	2前	2	1								
社会科学分野研究	2前	2	1								
国際教養分野研究	2前	2	1								
自然科学分野研究	2前	2	1								
小計(20科目)	-		40		6	1		2			
国際関係・地域研究科目	欧米地域研究	2後	2		1						
	東アジア地域研究	2後	2		1						
	アメリカ情勢	3前	2			1					
	ヨーロッパ情勢	3前	2		1						
	アジア情勢	3後	2								1
	アフリカ情勢	3後	2					1			
	国際問題研究	3後	2		1						
	グローバルイゼーション論	3前	2		1						
	日韓関係論	3後	2								1
	アメリカ外交研究	3前	2		1						
	国際協力・開発論	3前	2		1						
平和学	3後	2		1							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域研究・国際関係科目	NGO論	3後		2		1						
	国連研究	3後		2		1						
	旅行業A	2後		2							1	
	旅行業B	3前		2								1
	小計(16科目)	-		32		3	1		1			2
国際文化・国際教養科目	アメリカ社会文化論	2後		2			1					
	韓国社会文化論	2後		2			1					
	比較文化論	3前		2			1					
	表象文化研究	3前		2								1
	東アジア文化研究	3前		2		1						
	イギリス・アイルランド文化研究	3前		2		1						
	アメリカ・カナダ文化研究	3後		2			1					
	オセアニア文化研究	3後		2		1						
	日韓比較文化論	3後		2		1						
	英米文学研究	3後		2		1						
	世界の宗教	3後		2		1						
	日本史概論	3前		2		1						
	日本文化研究	3後		2		1						1
	日本文学研究	3後		2		1						
	伝統芸能研究	3後		2		1						
	伝統文化研究	3後		2								1
	日本美術研究	3後		2		1						
	日本語概論	2後		2		1						
	日本語史	3前		2		1						
	日本語文法	3前		2		1						
	日本語音声学	3後		2								1
	日本語教育論1	2後		2		1						
	日本語教育論2	3前		2		1						
	日本語教授法1	3前		2		1						
	日本語教授法2	3後		2								1
	日本語教育実習	4前		3								1
小計(26科目)	-		53		6	3					4	
国際コミュニケーション科目	ICTスキルA(情報発信)	3前		2		1						
	ICTスキルB(画像処理)	3前		2		1						
	ICTスキルC(情報発信上級)	3後		2		1						
	ビジネスプレゼンテーション概論	3前		2								1
	言語生活と心理	3前		2								1
	World Englishes	3前		2		1						
	英語通訳	3前		1		1						
	英語通訳演習	3後		1		1						
	韓国語通訳	3前		1		1						1
	韓国語通訳演習	3後		1		1						1
	English Discussion	3後		1		1						
	English Business Presentation	3前		1							1	
	韓国語ディスカッション	3後		1								1
	韓国語ビジネスプレゼンテーション	3前		1		1						2
中国語会話A	3前		1		1							
中国語会話B	3後		1		1							
中国語講読A	3前		1		1							
中国語講読B	3後		1		1							
小計(18科目)	-		24		6	1		1			4	
合計(151科目)	-		37	215		9	2		2		20	

卒業要件及び履修方法

(ベーシックスキル科目、キャリアデザイン科目、教養科目から必修科目を含む合計30単位以上)
 ・ゼミナール科目から必修科目を含む11単位以上
 ・国際基礎科目から12単位
 ・語学科目から必修科目を含む12単位以上
 ・留学科目から2～32単位
 ・国際関係・地域研究科目、国際文化・国際教養科目、国際コミュニケーション科目からそれぞれ6単位以上
 修得し、必修科目、選択科目をあわせて128単位以上修得すること。
 (履修科目の登録の上限:年間46単位)

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域研究・国際関係科目	NGO論	3後		2		1						
	国連研究	3後		2		1						
	旅行業A	2後		2								1
	旅行業B	3前		2								1
	小計(16科目)	-		32		3			1			3
国際文化・国際教養科目	アメリカ社会文化論	2後		2			1					
	韓国社会文化論	2後		2			1					
	比較文化論	3前		2			1					
	表象文化研究	3前		2								1
	東アジア文化研究	3前		2		1						
	イギリス・アイルランド文化研究	3前		2		1						
	アメリカ・カナダ文化研究	3後		2			1					
	オセアニア文化研究	3後		2		1						
	日韓比較文化論	3後		2		1						
	英米文学研究	3後		2		1						
	世界の宗教	3後		2		1						
	日本史概論	3前		2		1						
	日本文化研究	3後		2		1						
	日本文学研究	3後		2		1						
	伝統芸能研究	3後		2		1						
	伝統文化研究	3後		2								1
	日本美術研究	3後		2		1						
	日本語概論	2後		2		1						
	日本語史	3前		2		1						
	日本語文法	3前		2		1						
	日本語音声学	3後		2								1
	日本語教育論1	2後		2		1						
	日本語教育論2	3前		2		1						
	日本語教授法1	3前		2		1						
	日本語教授法2	3後		2								1
	日本語教育実習	4前		3								1
小計(26科目)	-		53		6	1					4	
国際コミュニケーション科目	ICTスキルA(情報発信)	3前		2		1						
	ICTスキルB(画像処理)	3前		2		1						
	ICTスキルC(情報発信上級)	3後		2		1						
	ビジネスプレゼンテーション概論	3前		2								1
	言語生活と心理	3前		2								1
	World Englishes	3前		2		1						
	英語通訳	3前		1		1						
	英語通訳演習	3後		1		1						
	韓国語通訳	3前		1		1						1
	韓国語通訳演習	3後		1		1						1
	English Discussion	3後		1		1						
	English Business Presentation	3前		1							1	
	韓国語ディスカッション	3後		1								1
	韓国語ビジネスプレゼンテーション	3前		1		1						2
中国語会話A	3前		1		1							
中国語会話B	3後		1		1							
中国語講読A	3前		1		1							
中国語講読B	3後		1		1							
小計(18科目)	-		24		6	1			1		4	
合計(151科目)	-		37	215		9	1		2		22	

卒業要件及び履修方法

(ベーシックスキル科目、キャリアデザイン科目、教養科目から必修科目を含む合計30単位以上)
 ・ゼミナール科目から必修科目を含む11単位以上
 ・国際基礎科目から12単位
 ・語学科目から必修科目を含む12単位以上
 ・留学科目から2～32単位
 ・国際関係・地域研究科目、国際文化・国際教養科目、国際コミュニケーション科目からそれぞれ6単位以上
 修得し、必修科目、選択科目をあわせて128単位以上修得すること。
 (履修科目の登録の上限:年間46単位)

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシックスキル科目	スタディ・スキル	1前	2			3						
	ICTリテラシー1	1前	2			1						
	文章表現演習	2後	2			3						
	ICTリテラシー2	2後	2			1						
	小計(4科目)	-	8			4						
キャリアリンクプログラム	キャリアデザイン1	1前	2									1
	キャリアデザイン2	2後	2									1
	キャリアデザイン3	3後		2								1
	インターンシップ	3前		2								1
	小計(4科目)	-	4	4								1
教養科目	哲学	1前		2								1
	文学	1前		2								1
	言語学	1前		2		1						
	近現代世界史	1前		2		1						
	法学	1前		2								1
	政治学	1前		2								1
	経済学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	ジェンダー論	1前		2								1
	地球環境問題	1前		2								1
	現代社会論	1前		2								1
	健康スポーツ	1前		1								1
	地理学	1前		2								1
小計(13科目)	-		25		2						8	
ゼミナール科目	留学前ゼミナール	1前	2			2						
	留学後ゼミナール	2後	1				1			1		
	専門ゼミナール1A	3前	1			1	2					
	専門ゼミナール1B	3後	1			1	2					
	プロジェクト演習	3通		3		1				1		
	専門ゼミナール2A	4前	1			7	1					
	専門ゼミナール2B	4後	1			7	1					
	卒業論文	4通	4			8	1					
	小計(8科目)	-	11	3		7	2			1		
国際基礎科目	グローバルスタディーズ入門	1前	2			1						
	異文化コミュニケーション	1前	2							1		
	日本の歴史と文化	1前	2			1						
	国際関係入門	2後	2			1						
	比較文化入門	2後	2			1						
	日本文化入門	2後	2			1						
小計(6科目)	-	12			4				1			
語学科目	English Conversation 1	1前	1			1						
	English Conversation 2	1前	1			1						
	Reading 1	1前		1		2				1		
	Writing 1	1前		1		1	1			1		
	Vocabulary	1前		1		1						
	ホームステイ英語	1前		1		1				1		
	Advanced English Conversation 1	2後		1		1				1		
	Reading 2	2後		1		2						
	Writing 2	2後		1		1	1					
	English Presentation	2後		1		1				1		
	資格英語1	2後		1		2						
	ビジネス英語1(未開講)	2後		1								
	Advanced English Conversation 2	3前		1		1				1		
	アカデミック英語	3後		1		1						
資格英語2	3前		1		1				1			

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
語学科目	観光英語(未開講)	3後		1								
	ビジネス英語2	3前		1					1			
	Journal Reading	3後		1		1						
	韓国語会話1	1前		1		1						1
	韓国語会話2	1前		1		1						1
	韓国語作文1	1前		1			1					1
	韓国語講読1	1前		1			1					1
	留学韓国語	1前		1		1	1					
	ハングルの世界	1前		1			1					
	上級韓国語会話1	2後		1		1						2
	韓国語作文2	2後		1			1					2
	韓国語講読2	2後		1			1					2
	韓国語プレゼンテーション	2後		1		1	1					
	資格韓国語1	2後		1		1						2
	ビジネス韓国語1	2後		1			1					
	上級韓国語会話2	3前		1								2
	アカデミック韓国語	3後		1		1						
	資格韓国語2	3前		1								1
	観光韓国語	3後		1			1					1
	ビジネス韓国語2	3前		1			1					
時事韓国語	3前		1			1						
小計(36科目)	-	2	34		4	2		1			3	
留学科目	ランゲージスキル1	1後		2			1					
	ランゲージスキル2	1後		2			1					
	ランゲージスキル3	2前		2		1	1					
	ランゲージスキル4	2前		2		1	1					
	リーディングスキル1	1後		2		2						
	リーディングスキル2	1後		2		2						
	リーディングスキル3	2前		2		2						
	リーディングスキル4	2前		2		2						
	ライティングスキル1	1後		2		1	1					
	ライティングスキル2	1後		2		1	1					
	ライティングスキル3	2前		2		1	1					
	ライティングスキル4	2前		2		1	1					
	スピーキングスキル1	1後		2		1			1			
	スピーキングスキル2	1後		2		1			1			
	スピーキングスキル3	2前		2		1			1			
	スピーキングスキル4	2前		2		1			1			
人文科学分野研究	2前		2		1							
社会科学分野研究	2前		2		1							
国際教養分野研究	2前		2		1							
自然科学分野研究	2前		2		1							
小計(20科目)	-		40		7	1		1				
国際関係・地域研究科目	欧米地域研究	2後		2		1						
	東アジア地域研究	2後		2		1						
	アメリカ情勢	3前		2			1					
	ヨーロッパ情勢	3前		2		1						
	アジア情勢	3後		2			1					
	アフリカ情勢	3後		2					1			
	国際問題研究	3後		2			1					
	グローバルイゼーション論	3前		2		1						
	日韓関係論	3後		2			1					
	アメリカ外交研究	3前		2			1					
	国際協力・開発論	3前		2		1						
平和学	3後		2		1							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
地域研究・国際関係科目	NGO論	3後		2		1						
	国連研究	3後		2		1						
	旅行業A	2後		2								1
	旅行業B	3前		2								1
	小計(16科目)	-		32		3	2			1		1
国際文化・国際教養科目	アメリカ社会文化論	2後		2			1					
	韓国社会文化論	2後		2			1					
	比較文化論	3前		2			1					
	表象文化研究	3前		2								1
	東アジア文化研究	3前		2		1						
	イギリス・アイルランド文化研究	3前		2		1						
	アメリカ・カナダ文化研究	3後		2			1					
	オセアニア文化研究	3後		2		1						
	日韓比較文化論	3後		2		1						
	英米文学研究	3後		2		1						1
	世界の宗教	3後		2								1
	日本史概論	3前		2		1						
	日本文化研究	3後		2		1						
	日本文学研究	3後		2		1						
	伝統芸能研究	3後		2		1						
	伝統文化研究	3後		2								1
	日本美術研究	3後		2		1						
	日本語概論	2後		2		1						
	日本語史	3前		2		1						
	日本語文法	3前		2		1						
	日本語音声学	3後		2								1
	日本語教育論1	2後		2		1						
	日本語教育論2	3前		2		1						
	日本語教授法1	3前		2		1						
	日本語教授法2	3後		2								1
	日本語教育実習	4前		3								1
小計(26科目)	-		53		5	2					5	
国際コミュニケーション科目	ICTスキルA(情報発信)	3前		2		1						
	ICTスキルB(画像処理)	3前		2		1						
	ICTスキルC(情報発信上級)	3後		2		1						
	ビジネスプレゼンテーション概論	3前		2								1
	言語生活と心理	3前		2								1
	World Englishes	3前		2		1						
	英語通訳	3前		1		1						
	英語通訳演習	3後		1		1						
	韓国語通訳	3前		1		1						
	韓国語通訳演習	3後		1								1
	English Discussion	3後		1		1						
	English Business Presentation (全編)	3前		1								
	韓国語ディスカッション	3後		1			1					
	韓国語ビジネスプレゼンテーション	3前		1			1					
	中国語会話A	3前		1		1						
中国語会話B	3後		1		1							
中国語講読A	3前		1		1							
中国語講読B	3後		1		1							
小計(18科目)	-		24		6						3	
合計(151科目)	-	37	215		9	3			1		18	
卒業要件及び履修方法												
<p>(ベーシックスキル科目、キャリアデザイン科目、教養科目から必修科目を含む合計30単位以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナール科目から必修科目を含む11単位以上 ・国際基礎科目から12単位 ・語学科目から必修科目を含む12単位以上 ・留学科目から2~32単位 ・国際関係・地域研究科目、国際文化・国際教養科目、国際コミュニケーション科目からそれぞれ6単位以上 <p>修得し、必修科目、選択科目をあわせて128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間46単位)</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・受講者多数の理由により、「健康スポーツ」の兼任講師の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「留学前ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授2」「助教1」に変更。
- ・専任教員の昇任及び担当者追加の理由により、「専門ゼミナール2A」「専門ゼミナール2B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授2」から「教授7」「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授3」から「教授8」「准教授2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・受講者の少数の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「Reading 2」専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・受講者の少数の理由により、「Writing 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語会話1」の兼任講師の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「リーディングスキル1～4」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「ホームステイ英語」「Journal Reading」「イギリス・アイルランド文化研究」「オセアニア文化研究」「英米文学研究」「英語通訳」「英語通訳演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和2年度】

- ・担当者変更の理由により、「文学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「健康スポーツ」の兼任講師の配置を「兼任講師2」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者未就任の理由により、「専門ゼミナール1A, 2B」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・担当者未就任の理由により、「専門ゼミナール2A, 2B」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授2」から「教授7」「准教授1」に変更。
- ・担当者未就任の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授2」から「教授8」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「Writing 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ホームステイ英語」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者変更及び受講クラス編成の理由により、「Reading 2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「Writing 2」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「English Presentation」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「資格英語」の専任教員等の配置を「助教2」から「教授2」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「ビジネス英語1」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「上級韓国語会話1」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「韓国語作文2」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語作文2」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任講師2」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語購読2」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「韓国語プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「韓国語プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ビジネス韓国語1」を「兼任講師3」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ランゲージスキル1～4」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アメリカ情勢」「アメリカ社会文化論」「比較文化論」「アメリカ・カナダ文化研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和3年度】

- ・受講クラス編成の理由により、「留学前ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授2」「助教1」から「教授2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「専門ゼミナール1A, 2B」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「Writing 1」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「Advanced English Conversation 1」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「Writing 2」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「English Presentation」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「ビジネス英語1」を未開講。
- ・担当者退職の理由により、「Advanced English Conversation 2」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「観光英語」を未開講。
- ・担当者退職の理由により、「ビジネス英語2」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語会話1」を「教授1」「兼任講師2」から「教授1」「兼任講師1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語会話2」を「教授1」「兼任講師2」から「教授1」「兼任講師1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語作文1」を「准教授1」「兼任講師2」から「准教授1」「兼任講師1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語講読1」を「准教授1」「兼任講師2」から「准教授1」「兼任講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「韓国語プレゼンテーション」の教員等の配置を「兼任講師2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「ビジネス韓国語1」の教員等の配置を「兼任講師1」から「准教授1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「資格韓国語2」の教員等の配置を「兼任講師2」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「観光韓国語」の教員等の配置を「兼任講師2」から「准教授1」「兼任講師1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「ビジネス韓国語2」の教員等の配置を「兼任講師2」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「時事韓国語」の教員等の配置を「兼任講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「ランゲージスキル1～2」の専任教員等の配置を「助教1」を削除。
- ・担当者退職の理由により、「ランゲージスキル3～4」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アメリカ情勢」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アジア情勢」の教員等の配置を「兼任講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「国際問題研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「日韓関係論」の教員等の配置を「兼任講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アメリカ外交研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アメリカ社会文化論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「比較文化論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「アメリカ・カナダ文化研究」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更の理由により、「世界の宗教」の教員等の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当者退職の理由により、「English Business Presentation」を未開講。
- ・担当者変更の理由により、「韓国語ディスカッション」の教員等の配置を「兼任講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者変更及び受講クラス編成の理由により、「韓国語ビジネスプレゼンテーション」の教員等の配置を「兼任講師2」から「准教授1」に変更。

【令和4年度】

- ・ 担当者の兼任から専任への変更により「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「キャリアデザイン3」「ビジネスプレゼンテーション概論」の専任教員配置を「兼任・兼任1」から専任「教授1」に変更。
- ・ 授業運営の理由により、「キャリアデザイン3」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」を追加。
- ・ 担当者変更の理由により、「文学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「留学前ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「専門ゼミナール1A, 1B」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「専門ゼミナール2A, 2B」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授1」から「教授6」「准教授3」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授8」「准教授1」から「教授6」「准教授3」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「Reading1」の専任教員等の配置を「教授2」「助教1」から「教授1」「助教2」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「Vocabulary」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「ホームステイ英語」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「助教2」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「Advanced English Conversation 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「Reading2」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「English Presentation」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 授業開講の理由により、「ビジネス英語1」の専任教員等の配置を「助教2」とする。
- ・ 担当者追加の理由により、「Advanced English Conversation 2」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「資格英語2」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「助教2」に変更。
- ・ 授業開講の理由により、「観光英語」の専任教員等の配置を「助教1」とする。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「上級韓国語会話1」の教員等の配置を「教授1」「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「韓国語作文2」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「韓国語講読2」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「資格韓国語1」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 受講クラス編成の理由により、「観光韓国語」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当者追加の理由により、「ランゲージスキル1, 2」の専任教員等の配置を「准教授1」に「助教1」を追加。
- ・ 担当者変更の理由により、「ランゲージスキル3, 4」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」「助教1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「スピーキングスキル1~4」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・ 担当者退職の理由により、「アフリカ情勢」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「日本語教授法1」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 担当者就任辞退の理由により、「日本語教育実習」の教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「韓国語通訳演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者変更の理由により、「English Discussion」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 授業開講の理由により、「English Business Presentation」の専任教員等の配置を「助教1」とする。

- (注) (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	130 科目	0 科目	151 科目	21 科目 [0]	130 科目 [0]	0 科目 [0]	151 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{151} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用：東京成徳短期 大学（必要面積3,600 ㎡）			
	校舎敷地	70,555.33㎡	19,532.1㎡	0㎡	90,087.43㎡				
	運動場用地	47,056.39㎡	17,197㎡	0㎡	64,253.39㎡				
	小 計	117,611.72㎡	36,729.1㎡	0㎡	154,340.82㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	㎡				
	合 計	117,611.72㎡	36,729.1㎡	0㎡	154,340.82㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用：東京成徳短期 大学（必要面積 3,350㎡）				
	13,297.22㎡ (13,297.22㎡)	25,250.04㎡ (25,250.04㎡)	0㎡ (0㎡)	38,547.26㎡ (38,547.26㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	退職による減員 (4)			
	60室	39室	46室	5室 (補助職員 2 4人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和4年4月他学部から 専任教授1名の異動及び 専任助教1名を新規採用 のため(4)			
	国際学部 国際学科		1 5 - 3 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位で特定不能 なため、大学全体の 数 教育・研究の充実の ため(4)(3)(2) (元)	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	国際学部国際学科	236,203 [26,885]	224 [21]	117 [117]	5,524				
		252,748 [27,722]	210 [84]	143 [143]	6,750				
		235,094 [27,390]	225 [15]	140 [140]	6,615	0	0		
		232,834 [27,381]	187 [20]	140 [140]	6,486				
計	228,606 [26,962]	215 [21]	140 [140]	5,534					
	236,203 [26,885]	224 [21]	117 [117]	5,524					
	235,094 [27,389]	225 [14]	140 [139]	6,614	0	0			
	235,094 [27,390]	225 [15]	140 [140]	6,615	0	0			
	232,834 [27,381]	187 [20]	140 [140]	6,486					
	228,606 [26,962]	215 [21]	140 [140]	5,534					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	2,197㎡		234席	248,025冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	5,223.35㎡		テニスコート、サッカー場、野球場、ゴルフ練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル等の経費 を含む(2) 設備計画の変更によ る(2)
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	10,237千円	24,150千円 12,369千円	2,500千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	171,377千円	2,214千円 12,088千円	10,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		912千円	612千円	1,125千円	1,125千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京成徳大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	-	3年次	-	-	-	-	-	平成5	-	平成31年学生募集停止
日本伝統文化学科	4	-	-	-	学士(日本伝統文化)	-	-	-	平成13	東京都北区十条台1丁目7番13号	
応用心理学部	4	172	3年次	690	-	1.01	1.03	-	平成21	-	
臨床心理学科	4	112	-	448	学士(臨床心理学)	1.06	1.05	-	平成21	東京都北区十条台1丁目7番13号	
健康スポーツ心理学科	4	60	1	242	学士(健康・スポーツ心理学)	0.97	1.01	-	平成22	同上	
子ども学部	4	140	3年次	570	-	1.02	0.92	-	平成16	-	
子ども学科	4	140	5	570	学士(子ども学)	1.02	0.92	-	平成16	東京都北区十条台1丁目7番13号	
経営学部	4	140	3年次	564	-	1.07	0.94	-	平成21	-	
経営学科	4	140	2	564	学士(経営学)	1.07	0.94	-	平成21	東京都北区十条台1丁目7番13号	
国際学部	4	81	-	324	-	0.71	0.61	平成31	平成31	-	
国際学科	4	81	-	324	学士(国際学)	0.71	0.61	平成31	平成31	東京都北区十条台1丁目7番13号	
大学全体	-	533	8	2148	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	東京成徳大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	2	18	-	36	修士(心理学)	0.85	0.66	-	平成14	東京都北区十条台1丁目7番13号	
博士後期課程	3	3	-	9	博士(心理学)	0.88	1.00	-	平成15		
大学院全体	-	21	-	45	-	-	-	-	-		
大学の名称	東京成徳短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度		
幼児教育学科	2	180	-	360	短期大学士(幼児教育学)	0.62	0.47	-	昭和41	東京都北区十条台1丁目7番13号	
大学全体	-	180	-	360	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際学科>

(1) ① 担当教員表

【届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名	専任・兼任の別	職名
	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専任	芳賀 克彦 (58) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)	専任	芳賀 克彦 (59) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)	専任	芳賀 克彦 (60) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)	専任	芳賀 克彦 (61) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)	専任	芳賀 克彦 (62) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)
専任	グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation1 English Conversation2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B アメリカ外交研究 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 世界の宗教 English Discussion	専任	グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation1 English Conversation2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B アメリカ外交研究 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 世界の宗教 English Discussion	専任	グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation1 English Conversation2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B アメリカ外交研究 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 世界の宗教 English Discussion アメリカ社会文化論 アメリカ情勢 比較文化論 アメリカ・カナダ文化研究	専任	グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation1 English Conversation2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 English Discussion	専任	グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation1 English Conversation2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 アフリカ情勢
専任	岡本 和彦 (51) <平成31年4月> 社会学修士	専任	岡本 和彦 (52) <平成31年4月> 社会学修士	専任	岡本 和彦 (53) <平成31年4月> 社会学修士	専任	岡本 和彦 (54) <平成31年4月> 社会学修士	専任	岡本 和彦 (55) <平成31年4月> 社会学修士
専任	近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバルセッション論 国際問題研究 平和学	専任	近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバルセッション論 国際問題研究 平和学	専任	近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバルセッション論 国際問題研究 平和学	専任	近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバルセッション論 平和学 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4	専任	近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバルセッション論 平和学
専任	青柳 隆志 (56) <平成34年4月> 文学修士	専任	青柳 隆志 (57) <平成34年4月> 文学修士	専任	青柳 隆志 (58) <平成34年4月> 文学修士	専任	青柳 隆志 (59) <平成34年4月> 文学修士	専任	青柳 隆志 (60) <平成34年4月> 文学修士
専任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究
兼任	青柳 隆志 (56) <平成31年4月> 文学修士	兼任	青柳 隆志 (57) <平成31年4月> 文学修士	兼任	青柳 隆志 (58) <平成31年4月> 文学修士	兼任	青柳 隆志 (59) <平成31年4月> 文学修士	兼任	青柳 隆志 (60) <平成31年4月> 文学修士
兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究
専任	山下 琢巳 (59) <平成33年4月> 文学修士	専任	山下 琢巳 (60) <平成33年4月> 文学修士	専任	山下 琢巳 (61) <平成33年4月> 文学修士	専任	山下 琢巳 (62) <令和4年4月> 文学修士	専任	山下 琢巳 (63) <令和4年4月> 文学修士
専任	スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1	専任	スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1 日本語教育実習
兼任	山下 琢巳 (59) <平成31年4月> 文学修士	兼任	山下 琢巳 (60) <平成31年4月> 文学修士	兼任	山下 琢巳 (61) <平成31年4月> 文学修士	兼任	山下 琢巳 (62) <平成31年4月> 文学修士	兼任	山下 琢巳 (63) <平成31年4月> 文学修士
兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 日本語教育論1	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 日本語教育論1	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 日本語教育論1	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 日本語教育論1 日本文学研究 日本美術研究 日本史概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1	兼任	スタディ・スキル 文章表現演習 日本語教育論1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名								
専任	教授	李 允希 (60) <平成31年4月> 教育学修士(韓国)	留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 韓国語作文 2 韓国語 7 [レ] ティaching アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳	専任	教授	李 允希 (61) <平成31年4月> 教育学修士(韓国)	留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 韓国語作文 2 韓国語 7 [レ] ティaching アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳	専任	教授	李 允希 (62) <平成31年4月> 教育学修士(韓国)	留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳	専任	教授	李 允希 (63) <平成31年4月> 教育学修士(韓国)	留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳 資格検定履修! 韓国語プレゼンテーション	専任	教授	李 允希 (64) <平成31年4月> 教育学修士(韓国)	韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳 資格検定履修! 韓国語プレゼンテーション 韓国語通訳履修
専任	教授	直井 文子 (57) <平成34年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	専任	教授	直井 文子 (58) <平成34年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	専任	教授	直井 文子 (59) <平成34年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	専任	教授	直井 文子 (60) <平成34年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	専任	教授	直井 文子 (61) <平成34年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B
兼任	講師	直井 文子 (57) <平成31年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	兼任	教授	直井 文子 (58) <平成31年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	兼任	教授	直井 文子 (59) <平成31年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B	兼任	教授	直井 文子 (60) <平成31年4月> 博士(人文科学)	スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講義A 中国語講義B				
専任	教授	大和田 栄 (56) <平成31年4月> 文学修士	言語学 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing2 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes	専任	教授	大和田 栄 (57) <平成31年4月> 文学修士	言語学(※履修) 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing2 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes	専任	教授	大和田 栄 (58) <平成31年4月> 文学修士	言語学 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing2 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes	専任	教授	大和田 栄 (59) <平成31年4月> 文学修士	言語学 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing2 Reading1 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes 留学前ゼミナール	専任	教授	大和田 栄 (60) <平成31年4月> 文学修士	言語学 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes 留学前ゼミナール
専任	教授	岩瀬 弘和 (47) <平成32年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)	専任	教授	岩瀬 弘和 (48) <平成32年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)	専任	教授	岩瀬 弘和 (49) <令和2年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)	専任	教授	岩瀬 弘和 (50) <令和2年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)	専任	教授	岩瀬 弘和 (51) <令和2年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)
兼任	講師	岩瀬 弘和 (47) <平成31年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1	兼任	教授	岩瀬 弘和 (48) <平成31年4月> 博士(情報工学)	ICTリテラシー1												
専任	准教授	高野 泰 (52) <平成32年4月> 博士(文学)	専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 Reading 1 Reading 2 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 アメリカ情勢 アメリカ社会文化論 比較文化論 アメリカ・カナダ文化研究	専任	准教授	高野 泰 (53) <平成32年4月> 博士(文学)	専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 Reading 1 Reading 2 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 アメリカ情勢 アメリカ社会文化論 比較文化論 アメリカ・カナダ文化研究												
兼任	講師	高野 泰 (52) <平成31年4月> 博士(文学)	Reading 1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2	兼任	准教授	高野 泰 (53) <平成31年4月> 博士(文学)	Reading 1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	助教	Daiana Constantin (32) <平成31年4月> 修士(国際学)	専任	助教	Daiana Constantin (33) <平成31年4月> 修士(国際学)	専任	助教	Daiana Constantin (34) <平成31年4月> 修士(国際学)	専任	助教	Daiana Constantin (35) <平成31年4月> 修士(国際学)
	留学前ゼミナール 留学後ゼミナール プロジェクト演習 異文化コミュニケーション Writing1 Writing2 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢			留学前ゼミナール 留学後ゼミナール プロジェクト演習 異文化コミュニケーション Writing1 Writing2 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢			留学前ゼミナール 留学後ゼミナール プロジェクト演習 異文化コミュニケーション Reading1 Writing1 Writing2 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢			留学後ゼミナール 異文化コミュニケーション Reading1 Writing1 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢 ホームステイ英語 資格英語2	
									専任	助教	上原 紗織子 (38) <令和3年9月> Ph. D. (Linguistics) (米 国)
											留学前ゼミナール 留学後ゼミナール 異文化コミュニケーション ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Discussion English Presentation Reading1 ビジネス英語1 ビジネス英語2 ホームステイ英語 日本語教授法1
専任	助教	Saito Timothy James (36) <平成32年4月> Bachelor of Education (蒙 州)	専任	助教	Saito Timothy James (37) <平成32年4月> Bachelor of Education (蒙 州)	専任	助教	Saito Timothy James (38) <令和2年4月> Bachelor of Education (蒙 州)			
	Reading1 Writing1 Writing2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation			Reading1 Writing1 Writing2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation			Writing1 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 English Business Presentation				
兼任	講師	Saito Timothy James (36) <平成31年4月> Bachelor of Education (蒙 州)	兼任	講師	Saito Timothy James (37) <平成31年4月> Bachelor of Education (蒙 州)						
	Reading1 Writing1 Writing2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation			Reading1 Writing1 Writing2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation							
									専任	助教	Johnny Tim Ohu (29) <令和4年4月> Master of Arts in TESOL. (米 国)
											Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Business Presentation English Presentation Reading1 Reading2 Vocabulary Writing1 Writing2 ビジネス英語1 ビジネス英語2 ホームステイ英語 観光英語 資格英語2
兼任	教授	輪游 由己 (64) <平成31年4月> 経済学士									
	経済学										
兼任	准教授	池田 善英 (54) <平成33年4月> 文学修士	兼任	准教授	池田 善英 (55) <平成33年4月> 文学修士	兼任	准教授	池田 善英 (56) <平成33年4月> 文学修士			
	言語生活と心理			言語生活と心理			言語生活と心理				
									兼任	准教授	園谷 大輝 (44) <令和3年4月> 修士(カウンセリング科 学)
											言語生活と心理

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	准教授	原田 大 (42) <平成31年4月> 修士(国際開発)									
	地球環境問題										
兼任	准教授	堤 孝晃 (34) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	堤 孝晃 (35) <願望中> 修士(教育学)	兼任	准教授	堤 孝晃 (36) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	堤 孝晃 (37) <令和2年4月> 修士(教育学)
	社会学 現代社会学論			社会学(未開講) 現代社会学論(未開講)			社会学 現代社会学論 ジェンダー論			社会学 現代社会学論 ジェンダー論 キャリアデザイン3	
兼任	講師	李 正勲 (45) <平成31年4月> 修士(国際関係学)	兼任	助教	李 正勲 (46) <平成31年4月> 修士(国際関係学)	兼任	助教	李 正勲 (47) <平成31年4月> 修士(国際関係学)			
	韓国語会話1 韓国語会話2 資格韓国語1 資格韓国語2 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 アジア情勢 日韓関係論 韓国語ビジネスプレゼンテーション			資格韓国語1 資格韓国語2 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 アジア情勢 日韓関係論 韓国語ビジネスプレゼンテーション			資格韓国語2 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 アジア情勢 日韓関係論 韓国語ビジネスプレゼンテーション				
兼任	助教	石川 雅俊 (38) <平成31年4月> 博士(法学)									
	法学										
兼任	助教	森下 達 (32) <平成33年4月> 博士(文学)									
	表象文化研究										
兼任	講師	猪又 優 (56) <平成31年4月> 社会情報学修士	兼任	特任教授	猪又 優 (57) <平成31年4月> 社会情報学修士	兼任	特任教授	猪又 優 (58) <平成31年4月> 社会情報学修士			
	キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論			キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論			キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論				
									兼任	特任教授	種堀 久美子 (59) <令和3年4月> 修士(カウンセリング)
											キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論
			兼任	助教	山田 裕生 (32) <平成31年4月> 修士(体育学)						
				健康スポーツ							
									兼任	助教	小園 雅治 (39) <令和2年4月> 博士(文学)
											表象文化研究 文学
兼任	講師	関口 光春 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	関口 光春 (61) <願望中> 博士(文学)	兼任	講師	関口 光春 (62) <令和2年9月> 博士(文学)	兼任	講師	関口 光春 (63) <令和2年9月> 博士(文学)
	哲学			哲学(未開講)			哲学				哲学
兼任	講師	藤田 和美 (53) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	藤田 和美 (54) <願望中> 文学修士						
	ジェンダー論			ジェンダー論(未開講)							
兼任	講師	望月 幹雄 (66) <平成31年4月> 体育学修士									
	健康スポーツ										
兼任	講師	澤内 隆 (66) <平成31年4月> 文学士									
	地理学										
			兼任	講師	中井 遼郎 (83) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	中井 遼郎 (84) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	中井 遼郎 (85) <平成31年4月> 博士(理学)
				地球環境問題 地理学			地球環境問題 地理学			地球環境問題 地理学	
兼任	講師	岡田 一部 (44) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	岡田 一部 (45) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	岡田 一部 (46) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	岡田 一部 (47) <平成31年4月> 博士(法学)
	政治学			政治学			政治学			政治学	
兼任	講師	朴 天弘 (40) <平成31年4月> 修士(学術)									
	韓国語会話2 韓国語作文1 韓国語講義1 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 上級韓国語会話2 資格韓国語2 観光韓国語 韓国語通訳演習 韓国語4技能 韓国語ビジネスプレゼンテーション										

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	門村 剛夫 (86) <令和2年9月> 法学士	兼任	講師	門村 剛夫 (87) <令和2年9月> 法学士	兼任	講師	門村 剛夫 (88) <令和2年9月> 法学士
					兼行業A 兼行業B			兼行業A 兼行業B			兼行業A 兼行業B
						兼任	講師	岸 清香 (37) <令和3年9月> 博士(文学)	兼任	講師	岸 清香 (38) <令和3年9月> 博士(文学)
								世界の果敢			世界の果敢

- (注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
 - 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・青柳隆志教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・山下琢己教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・直井文子教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・岩瀬弘和教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・高野泰准教授の職名を兼任 准教授に変更。
- ・江澤恭子准教授昇任により職名を教授に変更。
- ・水谷清佳准教授の職名を兼任 准教授に変更。
- ・Saito Timothy James講師本字専任採用前のため兼任を兼任に変更。
- ・鶴海由己教授（兼任）就任辞退により「経済学」を中村宙正講師（兼任）に変更。
- ・原田大准教授（兼任）就任辞退により「地球環境問題」を中井達郎講師（兼任）に変更。
- ・堤孝晃准教授（兼任）休職により就任時期を調整中。
- ・李正勲（兼任）の職名を兼任 助教に変更。
- ・李正勲助教（兼任）就任辞退により「韓国語会話1」「韓国語会話2」を李南錫講師（兼任）に変更。
- ・石川雅俊（兼任）就任辞退により「法学」を鈴木隆講師（兼任）に変更。
- ・猪又俊（兼任）の職名を兼任 特任教授に変更。
- ・森下達助教（兼任）退職により兼任 講師に変更。
- ・望月幹雄講師（兼任）就任辞退により「健康スポーツ」を山田裕生助教（兼任）に変更。
- ・関口光春（兼任）未開講のため就任時期を調整中。
- ・藤田和美（兼任）未開講のため就任時期を調整中。
- ・澤内隆講師（兼任）就任辞退により「地理学」を中井達郎講師（兼任）に変更。
- ・山口知恵講師（兼任）「健康スポーツ」を採用。
- ・朴天弘（兼任）就任辞退により「韓国語作文」「韓国語講読」を睦俊秀講師（兼任）に変更。
- ・朴天弘（兼任）就任辞退により「韓国語会話2」を水谷清佳准教授に開講されているため問題なし。
- ・郭末任（兼任）の「韓国語作文2」「韓国語講読1」を崔英姫（兼任）に変更。

【令和2年度】

- ・芳賀克彦教授に高野泰准教授未就任により「アメリカ社会文化論」を追加。
- ・青柳隆志教授の「文学」を小橋玲治助教（兼任）に変更。
- ・李允希教授の「韓国語作文2」を水谷清佳准教授に、「韓国語プレゼンテーション」を睦俊秀講師（兼任）に変更。
- ・大和田栄教授に高野泰准教授未就任により「Reading1」を追加。
- ・岩瀬弘和教授就任。
- ・高野泰准教授未就任。
- ・江澤恭子教授にSaito Timothy James助教の「資格英語1」を変更。
- ・水谷清佳准教授就任。
- ・水谷清佳准教授の「上級韓国語会話1」を李南錫講師（兼任）講師に変更。
- ・Daiana Constantin助教にSaito Timothy James助教の「Reading1」を変更。
- ・Saito Timothy James助教に高野泰准教授未就任により「ランゲージスキル1~4」を追加。
- ・堤孝晃准教授（兼任）就任。
- ・李正勲助教（兼任）の「資格韓国語1」を李南錫講師（兼任）に変更。
- ・山田裕生助教（兼任）、山口知恵講師（兼任）の辞任により内藤清志講師（兼任）に変更。
- ・藤田和美講師（兼任）就任辞退により「ジェンダー論」を堤孝晃准教授（兼任）に変更。
- ・関口光春講師（兼任）就任。
- ・郭末任講師（兼任）辞任により「韓国語作文2」「韓国語会話2」を睦俊秀講師（兼任）に変更。
- ・郭末任講師（兼任）辞任により「資格韓国語1」「上級韓国語会話1」を崔英姫講師（兼任）に変更。
- ・桜井正講師（兼任）辞任により「旅行業A、B」を門村輝夫講師（兼任）に変更。
- ・金田賢講師（兼任）授業クラス編成増加により就任

【令和3年度】

- ・山下琢己教授（兼任）を既設学科の教育体制維持のため専任就任を令和4年4月>に変更。
- ・Saito Timothy James助教の辞任により「ランゲージスキル3」「ランゲージスキル4」を岡本和彦教授に変更。
- ・クラス編成により李允希教授に「資格韓国語1」を追加。
- ・睦俊秀講師（兼任）の「韓国語プレゼンテーション」を李允希教授に変更。
- ・Daiana Constantin助教の「留学前ゼミナール」を大和田栄教授に変更。
- ・大和田栄教授の「Writing2」を江澤恭子教授に変更。
- ・睦俊秀講師（兼任）の「韓国語プレゼンテーション」を水谷清佳准教授に変更。
- ・朴天弘講師（兼任）の就任辞退により「観光韓国語」を水谷清佳准教授に変更。
- ・李正勲助教（兼任）を准教授（専任）として採用。
- ・朴天弘講師（兼任）の就任辞退により「韓国語ディスカッション」を李正勲教授に変更。
- ・郭末任（兼任）就任辞退により「時事韓国語」の李正勲教授に変更。
- ・長島悦央を特任准教授（専任）として採用。
- ・芳賀克彦教授の「アメリカ社会文化論」「アメリカ情勢」「比較文化論」「アメリカ・カナダ文化研究」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・岡本和彦教授の「国際問題研究」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・青柳隆志教授（兼任）の「専門ゼミナール1A」「専門ゼミナール1B」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・Saito Timothy James助教の辞任により「Writing1」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・Daiana Constantin助教の「Writing2」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・Saito Timothy James助教の辞任により「資格英語2」をDaiana Constantin助教に変更。
- ・江澤恭子教授の「ホームステイ英語」をDaiana Constantin助教に変更。
- ・池田善英准教授（兼任）就任辞退により関谷大輝准教授（兼任）に変更。
- ・猪又俊（兼任）の辞任により、稲垣久美子特任教授（兼任）に変更。
- ・朴天弘講師（兼任）の就任辞退により「韓国語通訳演習」を睦俊秀講師（兼任）に変更。
- ・朴天弘講師（兼任）の就任辞退により「上級韓国語会話2」「資格韓国語2」を崔英姫講師（兼任）に変更。
- ・水谷清佳准教授の「韓国語会話2」「韓国語作文1」を李南錫講師（兼任）に変更。
- ・崔英姫講師（兼任）の「上級韓国語会話2」を李南錫講師（兼任）に変更。
- ・李南錫講師（兼任）の「韓国語プレゼンテーション」を授業クラス減少のため削除。
- ・芳賀克彦教授の「世界の宗教」を岸清香講師（兼任）に変更。

【令和4年度】

- ・芳賀克彦教授に「アフリカ情勢」を追加。
- ・芳賀克彦教授の「English Discussion」を上原紗織子助教に変更。
- ・岡本和彦教授の「ランゲージスキル3」「ランゲージスキル4」を上原紗織子助教に変更。
- ・青柳隆志教授（兼任）のため「専門ゼミナール1A」「専門ゼミナール1B」「専門ゼミナール2A」「専門ゼミナール2B」「卒業論文」を追加。
- ・小橋玲治講師（兼任）の「文学」を青柳隆志教授（兼任）に変更。
- ・山下琢己教授の「日本語教授法1」を上原紗織子助教に変更。
- ・加藤啓美講師（兼任）の就任辞退のため「日本語教育実習」を山下琢己教授に変更。
- ・李允希教授の「留学前ゼミナール」を水谷清佳准教授に変更。
- ・李允希教授の「専門ゼミナール2A」「専門ゼミナール2B」「卒業論文」を李正勲准教授に変更。
- ・睦俊秀講師（兼任）の「韓国語通訳演習」を李允希教授に変更。
- ・直井文子教授「卒業論文」を長島悦央特任准教授に変更。
- ・大和田栄教授の「Reading1」「Reading2」をJohnny Tim Chu助教に変更。
- ・江澤恭子教授の「Writing2」を大和田栄教授に変更。
- ・水谷清佳准教授の「韓国語作文2」「韓国語会話2」を授業クラス減少のため削除。
- ・水谷清佳准教授の「観光韓国語」を李正勲准教授に変更。
- ・長島悦央特任准教授に「スピーキングスキル1」「スピーキングスキル2」「スピーキングスキル3」「スピーキングスキル4」「専門ゼミナール2A」「専門ゼミナール2B」を追加。
- ・上原紗織子を助教（専任）として採用。
- ・上原紗織子助教に「留学前ゼミナール」「留学後ゼミナール」「異文化コミュニケーション」「ランゲージスキル1」「ランゲージスキル2」「Advanced English Conversation 1」「Advanced English Conversation 2」「English Presentation」「Reading1」「ビジネス英語1」「ビジネス英語2」「ホームステイ英語」を追加。
- ・Johnny Tim Chuを助教（専任）として採用。
- ・Johnny Tim Chuを助教に「Advanced English Conversation 1」「Advanced English Conversation 2」「English Business Presentation」「English Presentation」「Vocabulary」「Writing」「ビジネス英語1」「ビジネス英語2」「ホームステイ英語」「観光英語」「資格英語2」を追加。
- ・堤孝晃准教授（兼任）に「キャリアデザイン3」を追加。
- ・稲垣久美子特任教授を兼任から専任に変更。
- ・崔英姫講師（兼任）の「資格韓国語1」「上級韓国語会話1」を授業クラス減少のため削除。

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
 ・ **職員で担った教員職員の兼任職名を兼任する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A/C教員審査）を受けてください。**A/C教員審査を要せずに兼任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（A/C）」を提出し「可」の教員の判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	3	0	2	13	0	9	3	0	2	14	0
(3)	(1)	(0)	(1)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	3	0	2	15	0	10	3	0	2	15	0
[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60 歳	6 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{13} = \boxed{115.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{14} = \boxed{42.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								必修	選択	自由			
1	准教授	高野 泰	R元.9	必修	専門ゼミナール1A	③	授業をシラバスに記載のとおり実施しなかったなどの教育上不適格な行為がみられたため、本人了承のうえ就任を見送ることとしたため。(2)						
				必修	専門ゼミナール1B	③							
				必修	専門ゼミナール2A	③							
				必修	専門ゼミナール2B	③							
				必修	卒業論文	③							
				選択	Reading1	①							
				選択	Reading2	①							
				選択	ランゲースキル1	①							
				選択	ランゲースキル2	①							
				選択	ランゲースキル3	①							
				選択	ランゲースキル4	①							
				選択	アメリカ情勢	①							
				選択	アメリカ社会文化論	①							
選択	比較文化論	①											
選択	アメリカ・カナダ文化研究	①											
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	5	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	5	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
								必修	選択	自由			
1	助教	Saito Timothy James	R3.3	選択	Writing1	①	R3.3.31付け自己都合のため辞任(3)						
				選択	Vocabulary	①							
				選択	ホームステイ英語	①							
				選択	Advanced English Conversation 1	①							
				選択	Advanced English Conversation 2	①							
				選択	資格英語2	①							
				選択	English Presentation	①							
				選択	ビジネス英語1	③							
				選択	ビジネス英語2	①							
				選択	観光英語	③							
				選択	ランゲージスキル1	①							
				選択	ランゲージスキル2	①							
				選択	ランゲージスキル3	①							
				選択	ランゲージスキル4	①							
選択	English Business Presentation	③											
2	助教	Daiiana Constantin	R4.3	必修	留学後ゼミナール	①	R4.3.31付け任期満了のため辞任(4)						
				必修	異文化コミュニケーション	①							
				選択	Reading1	①							
				選択	Writing1	①							
				選択	Advanced English Conversation 1	①							
				選択	Advanced English Conversation 2	①							
				選択	English Presentation	①							
				選択	ビジネス英語1	①							
				選択	ビジネス英語2	①							
				選択	スピーキングスキル1	①							
				選択	スピーキングスキル2	①							
				選択	スピーキングスキル3	①							
				選択	スピーキングスキル4	①							
				選択	アフリカ情勢	①							
				選択	ホームステイ英語	①							
				選択	資格英語2	①							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	29	科目	選択	26	科目	選択	0	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	31	科目	計	28	科目	計	0	科目	計	3	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	7 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	5 科目
	選択	39 科目	選択	36 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	46 科目	計	38 科目	計	0 科目	計	8 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未就任となった教員は、平成31年4月から兼担教員として学部の授業を担当していたが、授業の運営について不適格な行為が見られたため令和2年4月からの就任を拒否した。就任の拒否にあたっては学生からの授業状況の確認及び学部長と本人の面談を経て、学部長が学長と協議の上、決定された。現在は科目を他の専任教員に割り振ることによって授業に支障がないよう配慮している。今年度中に他の専任教員の就任時期の繰上げと新規の専任教員の採用をもって本件に対処する。また、学生にはシラバス等で周知する。(2)
 令和3年度に令和2年度の未就任専任教員の後任を専任教員の採用をもって対処した。令和2年度末の専任教員の辞任については、科目を他の専任教員に割り振ることによって授業に支障がないよう配慮するとともに、後任の専任教員の採用をもって本件に対処する。また、学生にはシラバス等で周知する。(3)
 令和2年度末及び令和3年度末辞任の専任教員の後任を専任教員の採用をもって対処した。また、学生にはシラバス、時間割等で通知した。(4)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画		
届 出 時 (平成30年)	・完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	指摘事項 (改善)	・定年を超える専任教員は本学の教育・研究上必要なため定年延長の措置を適切に講じている。	履行中	・今後は教員組織の年齢構成に配慮し教員を採用していく予定である。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (平成31年)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	指摘事項 (改善)	・定年を超える専任教員は本学の教育・研究上必要なため定年延長の措置を適切に講じている。	履行中	・今後は教員組織の年齢構成に配慮し教員を採用していく予定である。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	・定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(国際学部国際学科)	指摘事項 (改善)	・定年を超える専任教員は本学の教育・研究上必要なため定年延長の措置を適切に講じている。	履行中	・今後は教員組織の年齢構成に配慮し教員を採用していく予定である。
	・入学定員未充足の改善に努めること。(国際学部国際学科)	指摘事項 (改善)	・学生募集活動に注力した結果、令和2年度の入学定員超過率は0.88となり、開設年度の0.69より改善した。	履行中	・引き続き学生募集活動に注力し、入学者の質を担保しつつ、定員充足の努力を行っていく。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	該当なし				

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学部に東京成徳大学国際学部FD委員会を設置。・ 大学に東京成徳大学教育研究改善委員会及び大学SD・FD活動推進委員会を設置。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 国際学部FD委員会及び関する打合せを令和元年度は14回、令和2年度8回、令和3年度は13回実施。学科会議との連携により学科会議に出席した全教員が参加。・ 東京成徳大学教育研究改善委員会は令和元年度8回、令和2年度7回、令和3年度7回開催開催。・ 大学SD・FD活動推進委員会は毎年度5回開催。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学部のFDに関する事項。・ 教育課程や研究の方針に関する事項。・ 点検・評価の基本方針、項目設定、実施に関する事項。・ 点検・評価結果の公表及びそれに基づく教育研究活動の改善に関する事項。・ 認証評価機関による評価に関する事項。外部評価に関する事項。学生代表評価に関する事項。・ 全学のSD・FD活動のための研修会に関する事項。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5つの科目担当者連絡会議（「専門ゼミナール」「キャリアデザイン科目」「日本語教員資格関連科目」「英語スキル科目」「韓国語科目」）FDを計6回実施した。・ 成績評価分布に関するFD。・ 研究倫理教育に関するFD。・ 公開授業の実施（全教員が計14科目を公開し、授業参観コメントを提出）。・ 学生代表委員による意見についてのFD。・ 学生教育改善委員とのFD。・ 授業評価アンケート結果に関するFD。・ ハラスメント防止に関するFD。・ カリキュラム改訂のためのFDを計3回実施した。・ 東京成徳大学教育研究改善委員会は学修調査、学生満足度調査、授業評価アンケートを実施。・ 全学SD・FD研修会は令和3年度は以下のテーマにて実施。<ul style="list-style-type: none">第1回「理事長、学長、部局長たちの語る抱負と課題を聞く」第2回「教学・学生情報システムの更新に向けて」第3回「『自己点検評価書 2019・2020』を踏まえた各科・部署の課題と改善計画」第4回「ICTを活用した事務局の業務改善」及び「HPリニューアルの方向性」 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各FDは、学科会議と連携して、またそれとは別日にFD会議を開催して実施した。・ オンライン会議時には、各自の作成したコメントペーパーのメールやMoodleによる回覧等により実施した。・ アンケートは対象となる在学生に授業時に配布、Microsoft Teamsからの配信等により実施。実施率90%以上を目指す。・ 全専任教職員を対象とした研修会を年次計画に従い実施。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・各FDは、学科会議と連携しているためほぼ全員の専任教員が参加。
 - ・全学SD研修会を4回オンライン開催（主催：大学・短期大学SD・FD活動推進委員会）。
 - ・全学SD研修会については業務上やむをえない場合を除き全教職員の参加を義務付けている。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・各種調査・アンケートの結果等や学科内FD実施結果を踏まえ、授業改善のためにシラバスの記入内容の検討や成績不振者へのアドバイス等の教育研究改善活動をおこなっている。
 - ・調査やアンケートは調査結果を分析し、内容をホームページや冊子として図書館において閲覧できる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケート実施 有

毎年度前期講義終了時7月及び後期講義終了時1月に実施予定
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

専任教員は担当科目の調査及び分析結果について各人が考察を行いその考察も含めた内容を学生等にはホームページ等にて公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

- 該当なし
- ① 体制
 - a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
 - b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
 - c 委員会の審議事項等
 - d その他
 - ② 審議状況
 - a 審議した内容

記入例)

 - ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
 - ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
 - b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
 - c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
本学は、東京成徳大学教育研究改善委員会のもと継続的に自己点検・評価をおこなっており、学部においても自己点検・評価を実施し、改善活動を行っている。定員充足については開設年度の入学定員81名に対し56名という結果は令和2年度72名と改善を見せたが令和3年度は54名、令和4年度は50名となお厳しい傾向にあり定員充足にはいたっていない。また、社会の動向に影響を受けつつも設置の趣旨に鑑み点検・評価をおこない教育活動の改善に取り組む。

② 自己点検・評価報告書

- ・ 令和3年自己点検評価書
- a 公表（予定）時期
 - ・ 令和3年10月
- b 公表方法
 - ・ 大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和4年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

東京成徳大学国際学部FD委員会規程（制定案）

第1条 東京成徳大学国際学部に「FD委員会」を置く。

第2条 委員会は、本学国際学部の教員の教育活動に関する能力の向上、発展を図るため、カリキュラム、教授法、学習支援法等に関する研究開発を行い、その成果を学部内に普及するとともに実施に努めることを任務とする。

第3条 委員会は、その活動状況を定期的に教授会に報告しなければならない。

第4条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 国際学部長
- (2) 国際学科長
- (3) 国際学部教務委員長
- (4) 学部長が指名した者
- (5) 事務局教務課長

第5条 委員長は、学部長の推薦を受け学長が指名する。

第6条 委員会の事務は、事務局教務課がこれを処理する。

第7条 その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会において定める。

第8条 この規程の改廃は、教授会の意見を聴いて、学長が行う。

附 則

この規程は、2019年4月1日から適用する。

東京成徳大学教育研究改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人東京成徳学園教育研究改善（自己点検・評価）委員会（以下「学園委員会」という。）規程第7条第3項の規定に基づいて設置する東京成徳大学教育研究改善委員会（以下「委員会」という。）の運営に関する事項について定めるものである。

(組織)

第2条 委員会は、学長を委員長とし、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長及び研究科長
 - (2) 学科長
 - (3) 基礎・教養教育センター長
 - (4) 企画・IR室長
 - (5) 教学マネジメント・オフィサー
 - (6) 事務局長及び事務局次長
 - (7) カリキュラム・コーディネーター
 - (8) 法人本部長が指名する法人事務局員1名
 - (9) その他学長が指名する者
- 2 委員会に副委員長を置き、学長が委員の中から指名する。
- 3 理事長は、随時委員会に出席して意見を述べることができる。

(審議事項)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 全学的な教育課程や研究の編成方針に関する事項
- (2) 点検・評価の基本方針に関する事項
- (3) 点検・評価項目の設定に関する事項
- (4) 点検・評価の実施に関する事項
- (5) 点検・評価結果の公表及びそれに基づく教育研究活動等の改善に関する事項
- (6) 認証評価機関による評価に関する事項
- (7) 外部評価に関する事項
- (8) 学生代表者評価に関する事項
- (9) 委員長が必要と認めた事項

(点検・評価の項目)

第4条 点検・評価の項目については、学長が決定する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 3 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(専門委員会)

第6条 委員会は、第3条に定める審議事項を専門的に処理するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の構成その他必要な事項は、委員会が別に定める。

(実施委員会)

第7条 各学部・研究科は、教育課程や研究の編成方針並びに自己点検及び評価を円滑に実施するため、必要に応じて各学部・研究科に教育研究改善実施委員会（以下「実施委員会」という。）を置くことができる。

2 実施委員会の構成その他必要な事項は、各学部・研究科が定めて委員長に報告する。

（結果の報告）

第8条 委員会は、原則として、大学全体の自己点検・評価を行い、その結果について学外の有識者並びに学生代表者等に意見を求めなければならない。

2 学長は、学外の有識者等の意見を含む自己点検・評価の結果を報告書に取りまとめて、理事長に報告するとともにこれを公表するものとする。

（改善への取り組み）

第9条 学長は、改善を要する事項について当該学部長・研究科長に改善の実施を求め、その実現を図らなければならない。

2 改善を求められた学部長・研究科長は、委員会に改善計画及び改善結果の報告を行わなければならない。

（庶務）

第10条 委員会の庶務は、総務課が処理する。

（細則）

第11条 この規程の改廃は、大学運営委員会が行う。

2 この規程に定める事項の解釈に疑義があるときは、委員長がこれを決定する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年5月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。

東京成徳大学SD活動推進委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、東京成徳大学大学運営委員会規程第2条第2項に基づき、東京成徳大学（以下「本学」という。）教職員のSD活動を推進させるために設置する東京成徳大学SD推進委員会（以下「委員会」という。）に関する事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) SDに関する年度計画の調整・立案
- (2) SD活動に関する情報の収集と提供
- (3) SDに関する共通事項の企画・支援
- (4) その他SDの全学取組に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学長
- (2) 学部長、研究科長、学科長
- (3) 企画・IR室長
- (4) 事務局長、事務局次長
- (5) その他学長が指名する者

2 学長は委員会を招集し、その議長となる。

3 学長が職務を遂行できないときは、あらかじめ学長が指名した者がその職務を代行する。

(会議)

第4条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第5条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

(報告)

第6条 委員会を開催した場合、議長はその結果を大学運営委員会に報告しなければならない。

(細則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は学長が定める。

(事務処理)

第8条 委員会の事務は、事務局総務課が行う。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学運営委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成28年12月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年3月15日から施行する。

附 則

この規程は、2022年4月1日から施行する。